

大牟田市立松原中学校

1 本校のESDの特徴

本校のESDの取組は、SDGsを意識して地域に根ざした活動を通して、問題解決につながる価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会づくりの担い手となる生徒の育成をねらいとしている。そのためにESDで身につけさせたい能力・態度を育てるために、1年「福祉学習」、2年「地域探求学習」、3年「職場体験学習」を主テーマとして、各学年で特徴のある取組を行っている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

| 1 学年「福祉学習」 | 2 学年「地域探求学習」 | 3 学年「職場体験学習」 |
|--|--|---|
| 【5月】 ○オリエンテーション 【6・7月】 ○認知症の学習・絵本体験 ○高齢者疑似体験 【10・11・12月】 ○福祉施設体験学習の計画 ○福祉施設での介護体験 【1月・2月】 ○職業調べ | 【5月】 ○オリエンテーション 【6・7月】 ○地域探求の計画&準備 ○地域探求活動 【9・10・11月】 ○課題解決案の作成と検討 【12月】 ○京都での探求活動 【1月】 ○探求活動の振り返り 【2月】 ○国際理解学習 | 【5月】 ○オリエンテーション ○事業所調べ 【6・7月】 ○職場体験活動事前学習 ○職場体験活動 【10, 11月】 ○進路学習の計画, 実施 (卒業後の進路選択&決定に向けた取組) |

3 特徴的な活動事例

2 学年「地域探求学習」

(1) ねらい

大牟田の世界遺産や史跡の見学、環境・エネルギー施設や伝統地域文化や祭りを継承する人や産業・観光に関わる人の訪問を通して、地域の文化・歴史や大牟田の現状を知り、大牟田が抱える課題を見つけ、その課題を解決する方法を考える。また、解決方法をもとに大牟田の未来について興味関心を持って行動することができるようにする。



(2) 学習課題

自分たちが一生涯生活したいと思う大牟田市になるための方法を提案しよう。

(3) 取組

①大牟田市のよいところや課題を見つけるために、7月に5つのテーマのグループに分かれて地域探求を行った。

| 地域探求グループ | 訪問場所 | 課題 |
|-----------|---|--|
| 世界遺産史跡名所 | ・大牟田市役所・宮原抗跡・三池港 ・旧長崎税関三池支所 | ・交通が不便・観光客の減少・維持費の高額 ・滞在時間が短い・情報提供の整備 ・100年先まで保存できるか |
| 環境, エネルギー | ・有明カソーラー・RDFセンター, 発電所 ・エコサクセンター・リサイクルプラザ | ・平成35年以降RDF廃止後のゴミ問題 ・施設の老朽化・市税による多額の負担 |
| 観光 | ・動物園・三池カ歴史資料館 ・大牟田観光プラザ・清風荘 | ・各施設の老朽化・海外からの観光客が少ない ・宿泊施設等の問題 |
| 産業 | ・三井化学・信号電材株式会社 ・電気化学工業株式会社 | ・大牟田市への企業誘致, 産業や働く場所 ・人材の確保, 育成, 教育と技術の伝承 |
| 伝統・地域文化 | ・四郎國光・草木饅頭江口栄商店 ・大蛇山祭 | ・売上げ・時代にあった商品開発 ・大蛇山祭見学者&継承者の減少・祭のPR方法 |

②各自が訪問場所の概要や抱える課題をまとめを行った。

1 学年「福祉学習」(福祉施設体験学習)

(1) ねらい

認知症及び高齢者疑似体験の学習を生かし、高齢者との接し方を通して福祉について理解を深める。

地域の福祉施設での介護体験活動を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、持続可能な社会のために自分にできることを考え行動する。



(2) 学習課題

絵本教室や高齢者疑似体験による福祉学習を振り返り、高齢者の不自由なことや不便なことに気づき、高齢者にとって住みやすい(やさしい)町づくりの方策を考えることができるようにする。

(3) 福祉施設体験学習の取組

| 段階 | 学習活動・内容 | 留意点 |
|------------------------|---|--|
| 利エンテーション | (1)福祉体験学習についての利エンテーション | ○今後のスケジュールを確認させる。 |
| 事前学習 ・情報収集 ・整理分析 | (2)「介護とは何かを考えよう」 | ○DVDの視聴を通して、介護の現状と課題を知り、課題を見いださせる。 |
| | (3)グループ決め 「体験先での注意事項を考えよう」 | ○グループと係分担を決める。 ○体験学習で注意すべきこと、自分たちができることを考えさせる。 |
| | (4)「高齢者との接し方を考えよう」 事前打合せ | ○自分たちで考えた活動や注意事項に関するアドバイスを事前打合せでもらう。 |
| | (5)活動内容づくり | ○事前打合せで得た情報を元に、自分たちができる高齢者との効果的なふれあい活動の準備をさせる。 |
| 体験活動 | (6)福祉施設体験学習 | ○施設職員の方や高齢者とのコミュニケーションを通して、福祉について理解を深めさせる。 |
| 事後学習 ・整理分析 ・振り返り | (7)「福祉施設体験で学んだことをまとめよう」 | ○体験した内容とそれについての感想などをまとめる。 |
| | (8)「高齢者にやさしい町づくりの方策」を考えよう。 ・福祉ボランティア隊の結成 ・広報活動の実施 | ○福祉施設体験をもとに、高齢者に優しいまちづくりについて自分たちができることを考え行動する。 ・福祉ボランティア隊を結成し、その広報活動をさせる。 |

<活動の様子>



【福祉施設体験学習】



【地域探究学習】



【職場体験学習】

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・各学年のテーマを通して、大牟田のよりよい未来について考え、主体的かつ継続的に参画させることでESDで身につけさせたい能力・態度を養うことができた。

○課題

- ・大牟田の課題を意識しやすい教材の選定(体験場所やG Tの活用)と解決策の方法を工夫すること。
- ・さらなる教育効果を上げるために、振り返りの時間を充実させる必要がある。